

全国各地にてFCV*1が導入されており、多くの自治体が公用車や普及啓発に活用中

都道府県別のFCVの導入状況(2020年12月時点)

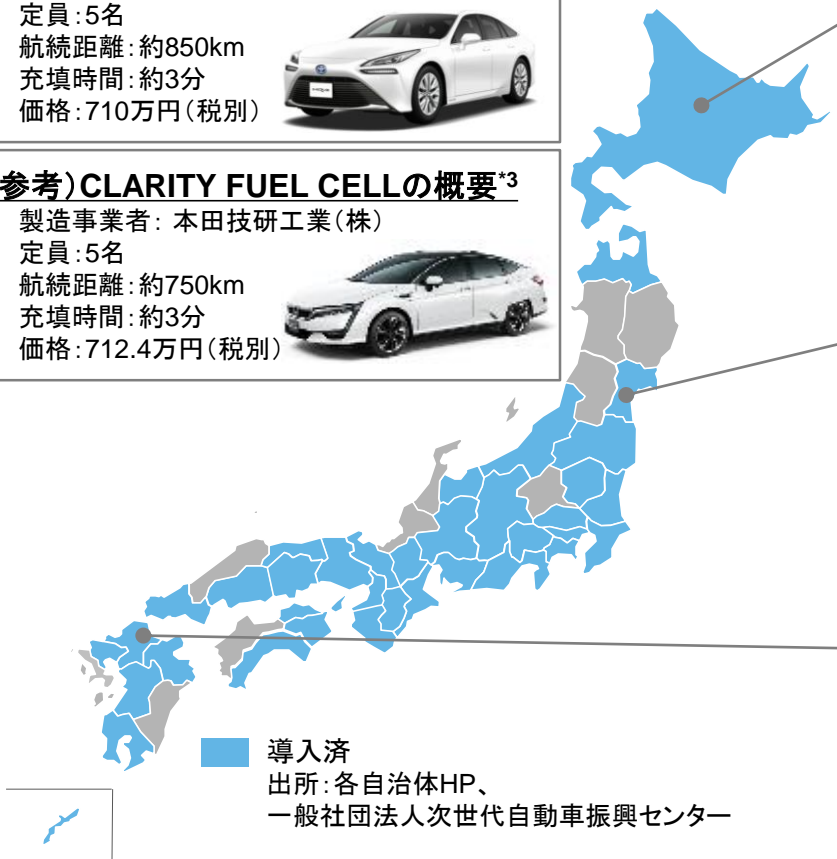
(参考)「MIRAI G」の概要*2

- 製造事業者:トヨタ自動車(株)
- 定員:5名
- 航続距離:約850km
- 充填時間:約3分
- 価格:710万円(税別)



(参考)CLARITY FUEL CELLの概要*3

- 製造事業者: 本田技研工業(株)
- 定員:5名
- 航続距離:約750km
- 充填時間:約3分
- 価格:712.4万円(税別)



災害時に非常用電源としてFCVを活用

- 2018年9月北海道胆振東部地震発生時、札幌市役所本庁舎前にFCVを設置し、約2000人の被災者の方々に携帯電話充電サービスを実施
- 2019年9月台風15号発生時に千葉県被災地にFCVや燃料電池バスを派遣し、携帯電話や家電の電力に活用



宮城県:FCVのレンタルサービスを実施

- FCVカーレンタル導入実証事業として、個人への貸し出しサービスを実験的に実施
- 個人のニーズ(時期・時間・目的等)にあった有料貸出を実施

福岡県:番組で公用車を用いて水素をアピール

- 県政広報が作成する番組に公用車FCVを使用
- FCVに乗車したタレントが水素・燃料電池産業の重要性をアピール

